



「夕立は馬の背を分ける」は、どういう意味なの

夕立のときは、限られた地域で激しく雨が降る

夏の暑い日は、地面が太陽光線で強く熱せられるので、空気がぼう張し、激しく上昇します。それに、上空に特に冷たい空気があると、積乱雲（かみなり雲、入道雲）ができます。この雲は夕立雲ともよばれ、限られた地域（10キロメートル四方ぐらい）に、激しいにわか雨を降らせます。

この雨は、正午から夕方7時ごろの間に降ることが多く、夕立といえます。かみなりをとまなうことがふつうで、1時間ほどでやむことが多いようです。

夕立の特徴を言い表したことは

夕立は限られた地域に激しく降る雨で、夕立雲があるところでは降っていますが、雲がないところでは降っていません。たとえば、馬の背中の左側は降っていても、右側はかわいているというほど、雨が限られた地域に降るといえるたえなのです。

（監修・村山 貢司）

夕立
左側
激しい雨



右側
降っていない

